

第2期高岡市総合戦略「みらい・たかおか」計画期間延長に伴う数値目標及びKPI設定について

1. 趣旨

第2期高岡市総合戦略「みらい・たかおか」については、国が策定したデジタル田園都市国家構想戦略を踏まえ、「デジタルの力の活用」の視点を追加した改訂を行うとともに、本市総合計画のリーディングプロジェクトとして着実に進捗するため、第4次基本計画アフターコロナ編の策定に合わせ計画期間を2年間延長（令和7、8年度）したところ。

計画期間の延長に伴い、コロナ禍を脱しての再スタートとなる令和5年度を基準年として、令和7、8年度の数値目標及びKPIを設定する。

2 数値目標について

(1) 数値目標項目の設定（新規設定及び変更）

当初の数値目標項目を維持することを基本とし、新たな項目の追加や状況の変化に応じた見直しを行う。

① 4つの基本目標ごとに、「デジタルの力の活用」を図る数値目標を新たに追加

数値目標	基準値(R5年度)	R8年度目標値
【基本目標①】多様なひとが住みたいと感じるまちをつくる		
市HPへのアクセス件数（総合計画と同指標）	535万件※	600万件

※ R3～R5年度は新型コロナウイルス感染症や令和6年能登半島地震の影響によりアクセス数が増大したので総合計画と同様にH28-R2の平均値を基準値とする。

【基本目標②】安心して子どもを生み育てられるまちをつくる		
子育て支援サイト等のアクセス件数（KPIの再掲）	104,754件	114,000件

【基本目標③】魅力的なしごとに挑戦できるまちをつくる		
地域産業におけるデジタル化の実現に向けた取組への支援件数(累計)	6件	12件

【基本目標④】誰もが自分らしく活躍し、地域が輝き続ける創造的なまちをつくる		
MaaS導入地区におけるデマンド型交通のLINE予約率	19.7%※	30.0%

※ R6年度から野村地区に導入されているため、R6の実績（見込）を基準値とする。

② 関連計画等の策定による項目の置き換え

「公共交通人口カバー率」を「国が位置付ける公共交通不便地域の割合」に置き換え

数値目標	基準値(R5年度)	R8年度目標値
(見直し前) 公共交通人口カバー率	—	—
(見直し後) 国が位置付ける公共交通不便地域の割合	9.0%	6.6%

③ 期間延長に伴う目標年次の見直し

数値目標	基準値(R5年度)	R8年度目標値
(見直し前) 2025年までの転出・転入を均衡	△475(R2～5の累計)	—
(見直し後) 2027年までの転出・転入を均衡	—	転出・転入を均衡 (R7～8の累計)

(2) R8 年度目標値の設定

① R6 年度までの目標値設定の考え方や算出方法を踏襲するもの

数値目標	基準値 (R5 年度)	R8 年度 目標値	目標値の 考え方
待機児童の数	0 人	0 人	0 人を維持
放課後児童クラブの入所者数	1,341 人	1,563 人	74 人増加／年
創業件数	627 件	987 件	120 件増加／年

② R8 年度までに計画基準値 (H30) に回復することを目標とするもの

数値目標	基準値 (R5 年度)	R8 年度 目標値	目標値の 考え方
観光客入込数	351 万人	398 万人	R8 までに計画基準 値 (H30) に回復
居住誘導区域内の人口密度	38 人／ha	40 人／ha	
地域共生社会実現に向け情報共有・ 連携強化の場となる会議の開催回数	53 回	68 回	

③ R5 実績値を踏まえ目標値設定の考え方や算出方法を見直すもの

数値目標	基準値 (R5 年度)	R8 年度 目標値	目標値の 考え方
10 歳未満の子どもの数	10,617 人	10,617 人	計画基準値から5年間で100人増加／年 ⇒ R5 実績値を維持
関係人口※の増加人数（累計）	20,311 人	30,000 人	計画基準値 (H30) から200人増加／年 ⇒計画基準値 (R5) から3,000人増加／年

※ふるさと納税寄附者数（県外のみ）、高岡ふるさと応援隊隊員数、クリエイター向け情報発信事業の登録者の合計人数

3 KPI について

(1) KPI 項目の設定

当初の KPI 項目を維持することを基本とし、状況の変化に応じた見直しを行う。

● KPI 項目を見直すもの

現 行	見直し後
No.1 2025 年までの転出・転入を均衡	目標年次の見直し 「 <u>2027</u> 年までの転出・転入を均衡」
No.4 市内の空き家数の増加率	毎年度の実績値が得られないため、「空き家・空き地情報バンクへの空き家登録件数」に置換え
No.34 高岡駅及び新高岡駅乗降客数	「新高岡駅・高岡駅の利用者数」に置換え （「高岡市地域公共交通計画（R6～R10）」の指標を設定）
No.43 公共交通人口カバー率	「国が位置付ける公共交通不便地域の割合」に置換え （「高岡市地域公共交通計画（R6～R10）」の指標を設定）
No.44 2025 年までの県西部 6 市の転出・ 転入を均衡	目標年次の見直し 「 <u>2027</u> 年までの県西部 6 市の転出・転入を均衡」

(2) R8 年度目標値の設定

R6 年度までの目標値設定の考え方や算出方法を踏襲することを基本とし、基準値を R5 実績に置き換える。

● 目標値設定の考え方を見直すもの

① R5 年度実績が計画基準値 (H30) を下回っているもの 【11 項目】	
⇒ R8 年度までに計画基準値 (H30) に回復することを目標とする	
② R5 年度の実績を踏まえ目標値を見直すもの 【5 項目】	
⇒ 目標値設定の考え方を見直し、改めて算出	
KPI	目標値の考え方
No.8 まちなか区域における居住支援に伴う居住人数	再開発事業の進捗に合わせて新たな目標値を設定
No.10 病児保育の実施施設数	R5 年度実績値を維持
No.12 10 歳未満の子どもの数	R5 年度実績値を維持
No.21 ICT を活用した授業が日常的に行われている学校の割合 (小学校)	R6 年度目標値を R8 年度に達成
No.22 ICT を活用した授業が日常的に行われている学校の割合 (中学校)	R6 年度目標値を R8 年度に達成